

二月廿九日 高改 第一二八号

無知 夜宿 迎信 兵 籍 官 級 死 亡 二 等 兵 上 等 兵

生 年 月 日

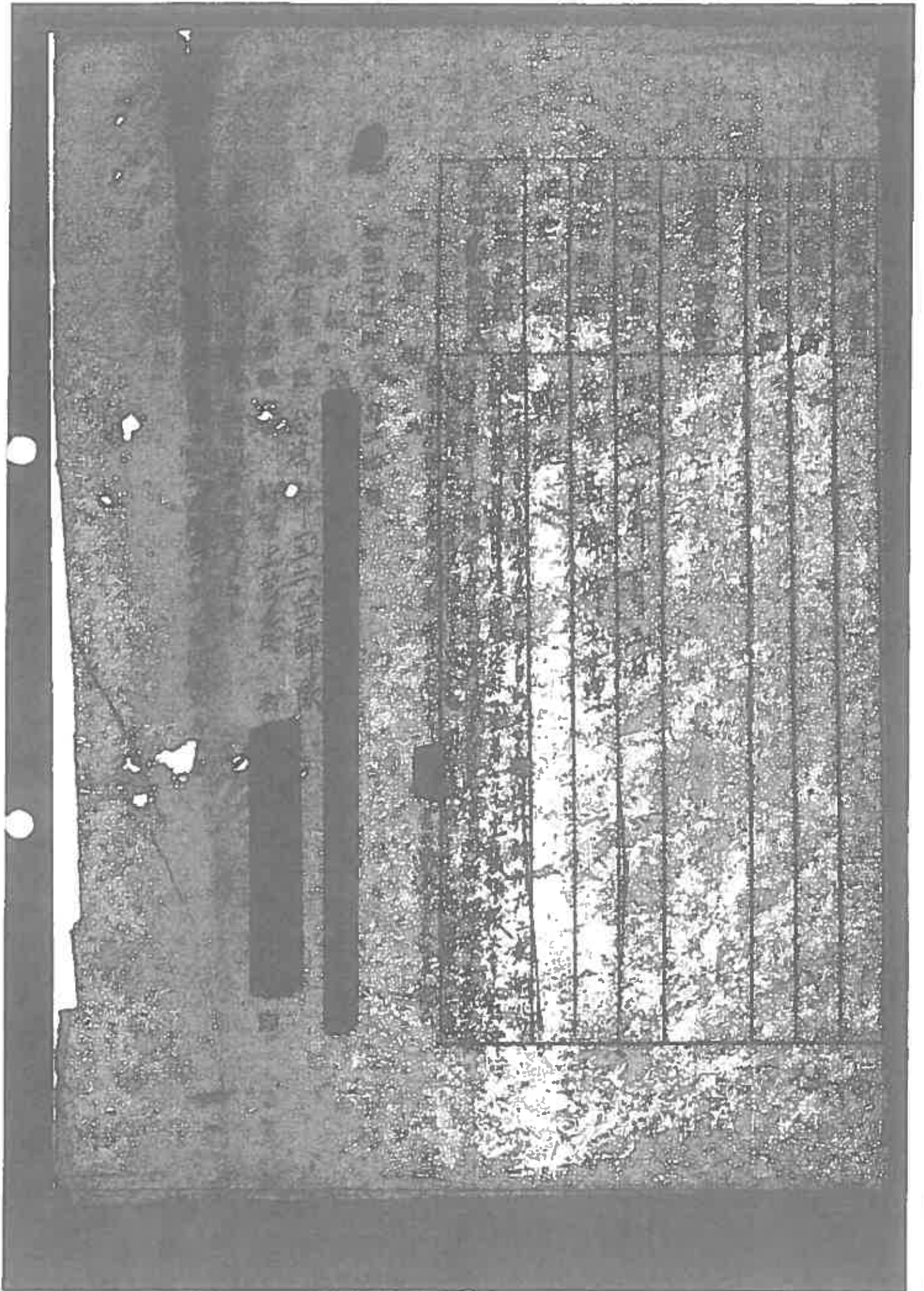
辛 酉 年 十 月 廿 九 日 生

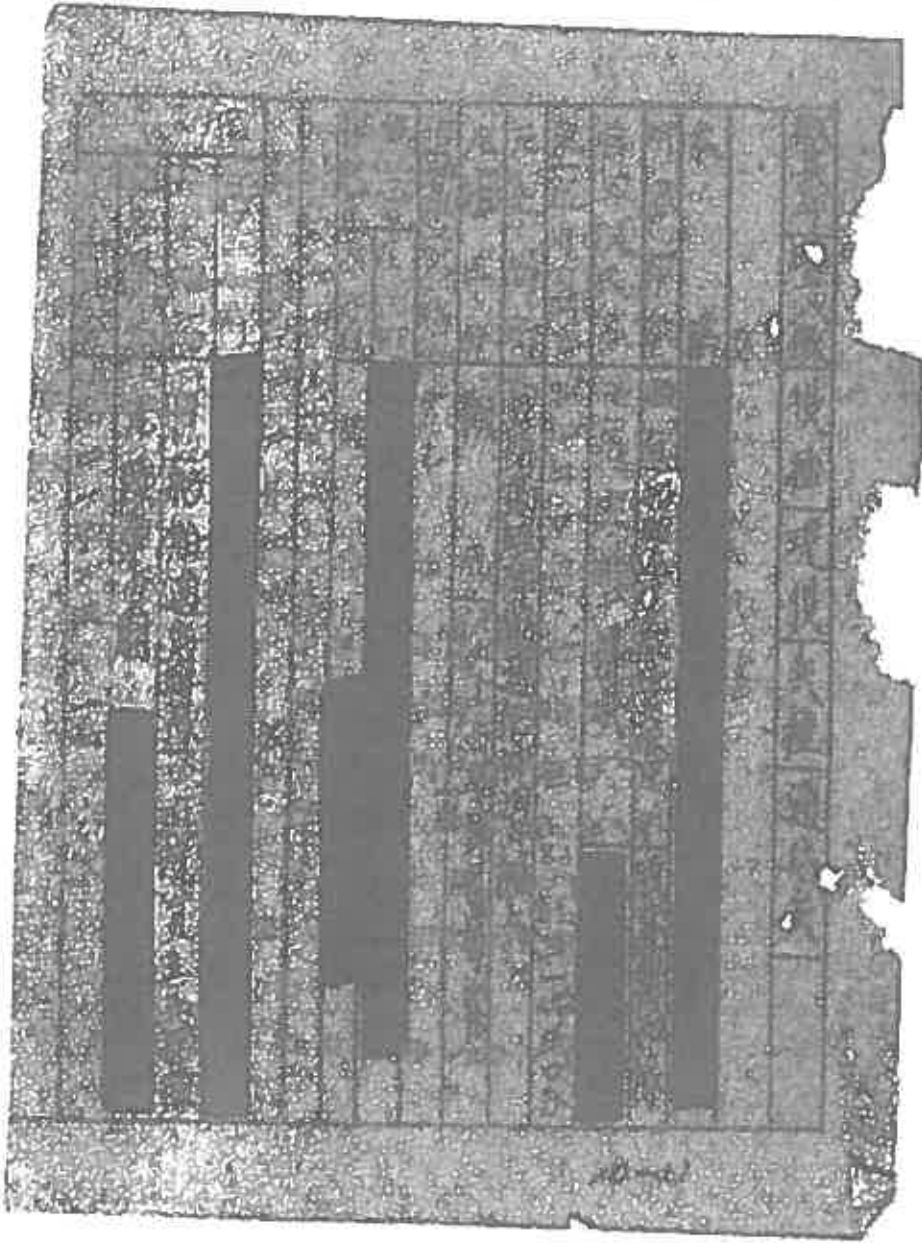
姓 名 田 野 氏

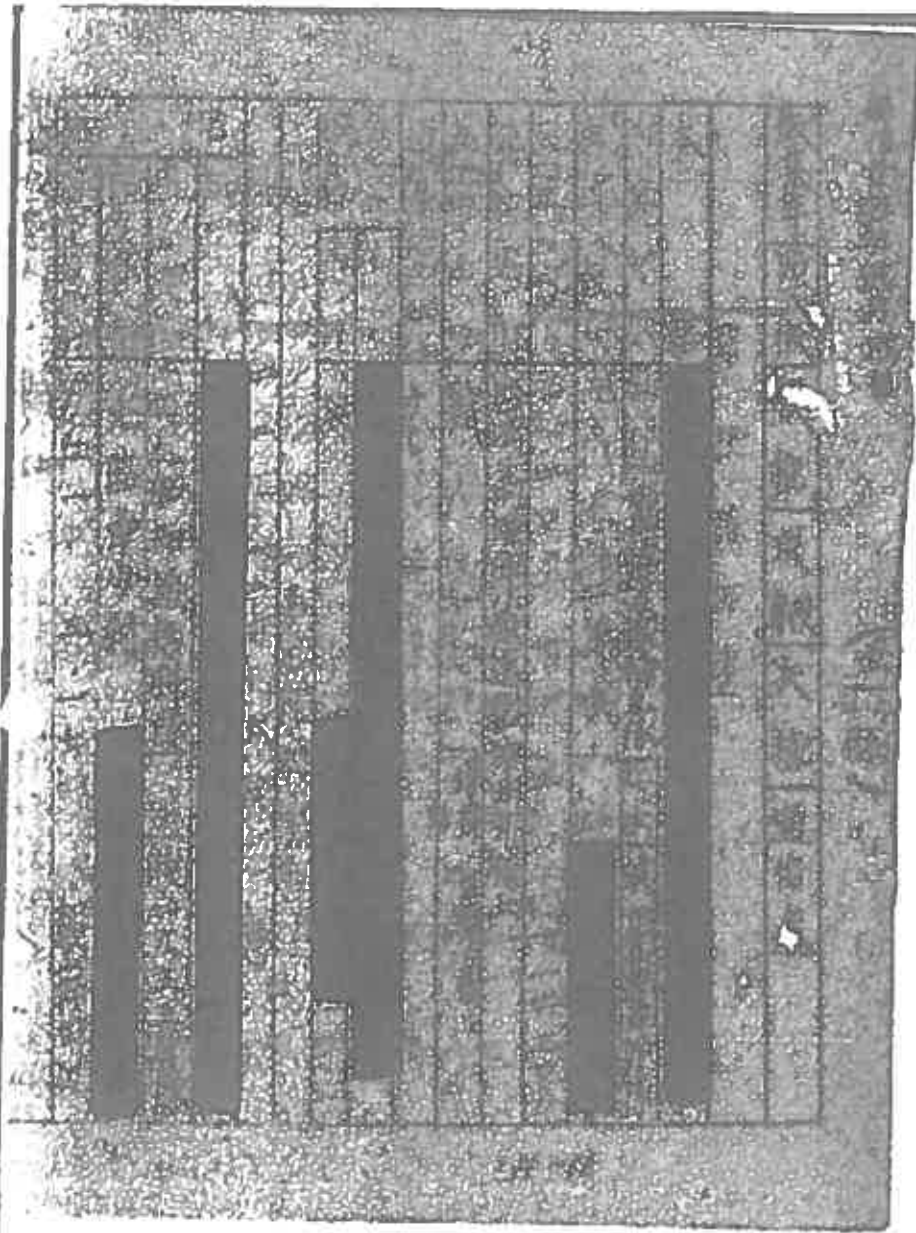
昭和十九年十一月二十日 中 兵 兵 隊 出 隊

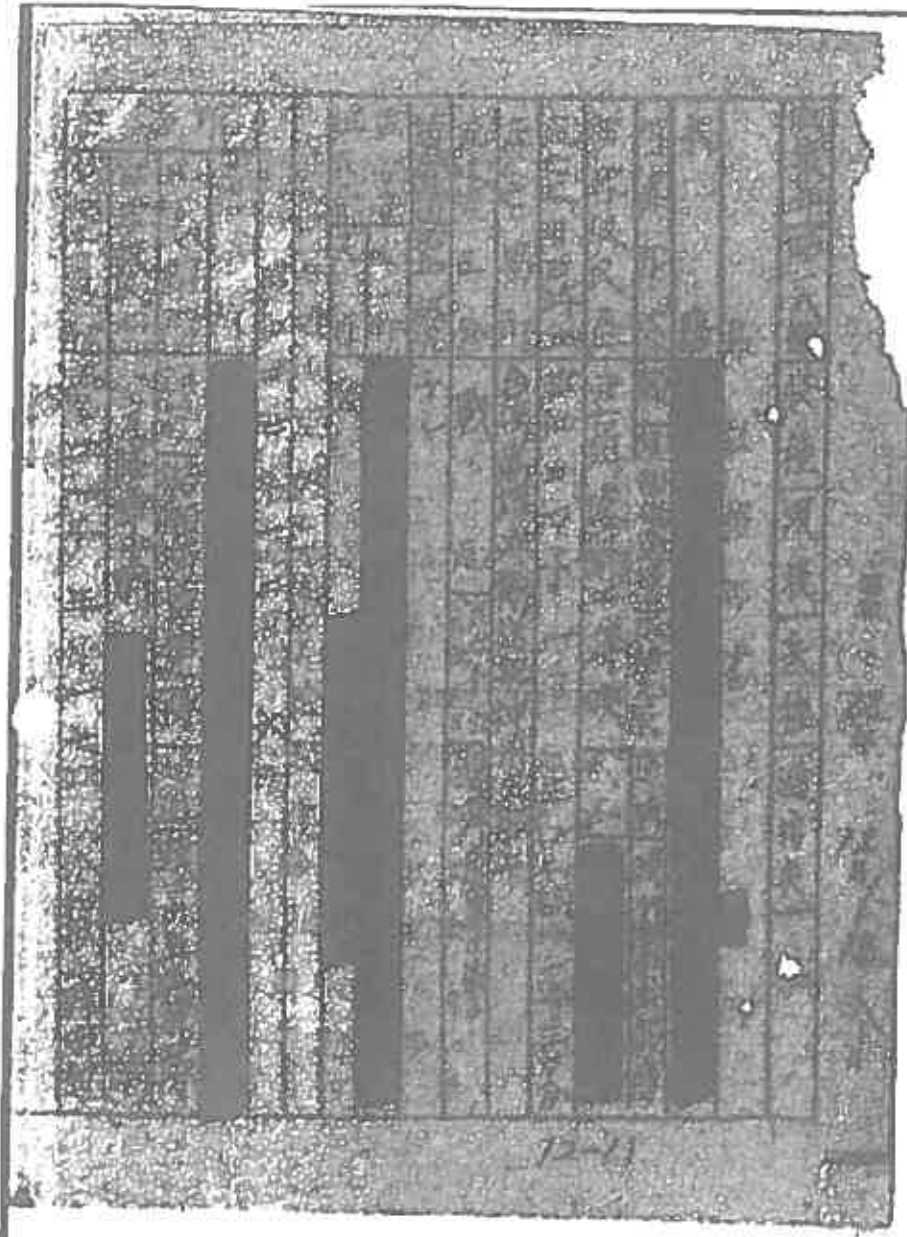
昭和十九年十一月二十日 中 兵 兵 隊 出 隊

昭和十九年十一月二十日 中 兵 兵 隊 出 隊









12-11

卷之四
目錄

蘇州府志

卷之四	目錄	卷之五	卷之六	卷之七	卷之八	卷之九	卷之十	卷之十一	卷之十二	卷之十三	卷之十四	卷之十五	卷之十六	卷之十七	卷之十八	卷之十九	卷之二十	卷之二十一	卷之二十二	卷之二十三	卷之二十四	卷之二十五	卷之二十六	卷之二十七	卷之二十八	卷之二十九	卷之三十	卷之三十一	卷之三十二	卷之三十三	卷之三十四	卷之三十五	卷之三十六	卷之三十七	卷之三十八	卷之三十九	卷之四十	卷之四十一	卷之四十二	卷之四十三	卷之四十四	卷之四十五	卷之四十六	卷之四十七	卷之四十八	卷之四十九	卷之五十	卷之五十一	卷之五十二	卷之五十三	卷之五十四	卷之五十五	卷之五十六	卷之五十七	卷之五十八	卷之五十九	卷之六十	卷之六十一	卷之六十二	卷之六十三	卷之六十四	卷之六十五	卷之六十六	卷之六十七	卷之六十八	卷之六十九	卷之七十	卷之七十一	卷之七十二	卷之七十三	卷之七十四	卷之七十五	卷之七十六	卷之七十七	卷之七十八	卷之七十九	卷之八十	卷之八十一	卷之八十二	卷之八十三	卷之八十四	卷之八十五	卷之八十六	卷之八十七	卷之八十八	卷之八十九	卷之九十	卷之九十一	卷之九十二	卷之九十三	卷之九十四	卷之九十五	卷之九十六	卷之九十七	卷之九十八	卷之九十九	卷之百
-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-----

本籍地

確認書

陸軍少尉

右之者昭和十九年九月二日現役兵トシテ陸軍第六七〇部隊三本島先月
 三日曉之九四部隊ニ轉属ラ命令シ十月三日廣島出發十月三日第一
 船輸送司令部轉属同日上陸十有十曾北サレテ上陸後同船乗リテ
 着同月六日南サレテ上陸後同船乗リテ上陸後同船乗リテ
 三台湾ニ向テ出帆昭和二十年一月三日朝高堆港ヲ見附見テ知テニ
 空襲ヲ受テ直ニ戦場ニテ下セルヤ石ハ海中ニ飛込ニ船首ニテ消スル
 ト同時ニ船内ニテ戦死シテ遺体ニテ拾フニ分後純命又昭和二十年五月
 二十日五分高堆港ニ戦死シテ遺体ニテ拾フニ分後純命又

本籍地

元陸軍少尉

印

現任所 石台

本籍地

現任所 石台

仙台陸軍飛行學校

昭和七年徵集 陸軍飛行學校

一戰死年月日 昭和七年一月九日

一戰死場所 台灣高雄洲

一戰死原因 為陸軍要員之運輸船被炸

昭和七年一月九日 運輸船被炸

不敵多機攻擊受火本船大破沈没

上列船隻部隊直于海空退避又爾後

多機攻擊八七時降空

昭和三年八月

台灣軍第八艦隊司令部對空無線電隊

陸軍少尉

夜軍救助為一出動不計船隻被炸下子不
 一四言三季漸散微以真八終以比野
 海上退避中將共六名賜被炸散級
 相氣水溫八益每低下二方等推多至心條件
 十辭之七救助船一應援ヲ待リ。一八等頃
 海防艦第六隻救助一乘ヲ退避退避中將共
 一故助三二時間有餘七對リタル也速
 是習三夜ノ夜ヲ夜見レ得ル
 戦死セル子ヲ理認

川原(姓)

姓名	川原 大	性別	男	生年	昭和 10 年 10 月 10 日	生時	10 時 00 分	生所	川原 町	死年	昭和 20 年 10 月 10 日	死時	10 時 00 分	死所	川原 町	死因	戦死	階級	大尉	氏名	川原 大	住所	川原 町
----	------	----	---	----	-------------------	----	-----------	----	------	----	-------------------	----	-----------	----	------	----	----	----	----	----	------	----	------

川原 大 大尉 戦死

川原 大 大尉 戦死

川原 大 (大尉) 戦死

川原 大 大尉 戦死

3-12

死亡現認証明書

昭和二十二年八月二十五日

死亡場所 伊豆半島南の方五〇ノハ海

死亡年月日 昭和二十年一月十二日午後

死亡原因 戦死(確度乙)

受傷箇所 無し

遺留品 無し

氏名 [Redacted]

現認者 [Redacted]

事由 昭和二十年八月二十五日伊豆半島南の方五〇ノハ海に戦艦「大和」が沈没し、乗組員の一部が救助された。そのうち、戦艦「大和」の乗組員として、戦死したと認められた。戦死したと認められた乗組員は、戦艦「大和」の乗組員として、戦死したと認められた。戦死したと認められた乗組員は、戦艦「大和」の乗組員として、戦死したと認められた。

記載上の注意
 一 現認事由は死亡当時の状況を詳細に記入す。
 一 階級は必ず死亡前のこと
 一 確度(甲は正確、乙は概ね正確、丙は疑はしきもの)は必ず記入す。
 一 氏名の下に捺印を必ず忘れぬこと
 一 本人の同意は必ず校長、分隊長、隊長

証明者
 本籍地 [Redacted]
 現住所 右全
 五長、戦友

56

死亡現証證明書

昭和二十一年八月二十五日

死亡場所		死亡年月日		死亡原因		死亡前階級		本籍地		遺留品		氏名		現職		事由		記載		注													
伊豆半島の南方		昭和二十一年一月十二日		戦死 (確度乙)		上等兵		[Redacted]		無し		[Redacted]		[Redacted]		昭和二十一年一月十二日伊豆半島の南方に現職村銃操射隊の隊員として戦死した。遺留品は無し。本籍地は不明である。		一階級に必ず死亡前のこと 一確度(甲)は正確に乙は概ね正確 一疑は(一)の(一)は必ず記入する 一氏名(下)に捺印を必ずしたること 一校名の関係は中隊長分隊長隊友		一死亡年月日は死亡当時の状況と詳細に 記入する 一階級に必ず死亡前のこと		一確度(甲)は正確に乙は概ね正確 一疑は(一)の(一)は必ず記入する 一氏名(下)に捺印を必ずしたること 一校名の関係は中隊長分隊長隊友		一死亡場所 一死亡年月日 一死亡原因 一死亡前階級 一本籍地 一遺留品 一氏名 一現職		一死亡場所 一死亡年月日 一死亡原因 一死亡前階級 一本籍地 一遺留品 一氏名 一現職		一死亡場所 一死亡年月日 一死亡原因 一死亡前階級 一本籍地 一遺留品 一氏名 一現職		一死亡場所 一死亡年月日 一死亡原因 一死亡前階級 一本籍地 一遺留品 一氏名 一現職		一死亡場所 一死亡年月日 一死亡原因 一死亡前階級 一本籍地 一遺留品 一氏名 一現職	

			軍曹	甲	乙	丙	丁	戊	己	庚	辛	壬	癸

陸軍省
陸軍部

陸軍省
陸軍部

陸軍省
陸軍部
陸軍少尉
陸軍少尉

12-12

0.1-1

比例

A 第一海軍航空隊司令部
 B 第二海軍航空隊司令部
 C 第三海軍航空隊司令部
 陸軍航空隊司令部

海軍航空隊司令部

